

池袋キャンパス AV サポート

1. 概要

機器貸出については 8 号館メディアセンター、5 号館講師控室、12 号館講師控室の AV 機器貸出帳、および貸し出し予約システムのデータベースより集計し、2014 年度より 3 期にわたって比較した。

サポートについては貸し出し予約システムのデータベースの他、サポート記録台帳を合わせて集計している。

機器利用は年々増加している。PC の利用はますます増し、特に以前に比べて常設 PC の利用が増えた。一時 iPad 等の機器の持込も増えたが、最終的に持込 PC は減少した。一方で OHC やポータブルラジオカセットも頻度は多くないものの、定期試験等では必ず使用されている。

2014 年に導入した Mediasite はますます需要が高まり、オープンキャンパスなどの学校行事でも利用されている。また、TV 会議や遠隔講義の利用が増え続けている。

機器のトラブルはデジタル化により、リセットで再現しない事象が増加している。

2. 利用状況

(1). AV 機器貸出状況

「その他」の分類を見直し、ケーブル類を集計しなくなったため、全体では 443 件減少した。

月別の推移は例年通りで 6 月と 11 月が最も多く、次に 12 月、5 月と続く。前年度は下半期に貸し出しが集中したが、2016 年度は上半期下半期とも同じぐらいの数となった (1630 件～1670 件)。授業期間でみると春学期(4 月～7 月)が約 1500 件、秋学期(9 月～1 月)が約 1350 件で前年度とは逆転した。

機器別にみるとノート PC、プロジェクター、ワイヤレスマウス及びポータブルマイクアンプは増加し、ビデオカメラや IC レコーダーは減少した。

ノート PC やプロジェクターは授業外での利用が増えた。特にプロジェクターは小型軽量化した上に、輝度も明るいので人気が高い。ワイヤレスマウスは貸し出しを開始した頃は学会などの授業外での利用が多かったが、今では授業利用も増えたため、期の途中で買い足して、講師控室からも貸出せるようにした。

一方でビデオカメラと IC レコーダーの減少は、2015 年に 5 号館 3 教室および 7 号館 2 教室に収録システムを入れたことで、8 号館メディアセンターでの収録が可能となったためである。収録では Mediasite の活用も増している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	17.1月	17.2月	17.3月	合計	2015年度	前年差	前年比
ノートPC	99	80	98	96	50	53	87	138	108	65	25	68	967	784	183	123.3%
HDDVカメラ(三脚)	20	60	90	70	16	31	53	65	65	56	11	21	558	607	-49	91.9%
ワイヤレスマウス	27	29	49	33	28	16	24	52	33	38	16	21	366	237	129	154.4%
プロジェクター	19	27	32	31	15	23	28	29	28	9	18	13	272	127	145	214.2%
ICレコーダー	7	21	30	22	7	5	27	30	14	15	5	16	199	257	-58	77.4%
Macアクセサリ	20	14	22	16	10	14	16	28	22	15	3	13	193	158	35	122.2%
ポータブルマイクアンプ	6	12	18	18	4	7	23	18	17	8	5	8	144	78	66	184.6%
Mac	3	7	51	6	2	15	12	9	6	1	1	3	116	—	—	—
スクリーン	2	0	5	6	8	5	6	2	27	3	1	9	74	—	—	—
Mediasite	0	5	2	3	0	3	12	10	10	11	5	1	62	25	37	248.0%
レーザーポインタ	6	6	18	10	0	1	0	5	6	5	0	2	59	—	—	—
デジタルカメラ	3	1	2	5	4	3	3	10	8	5	3	10	57	59	-2	96.6%
VHSデッキ	1	6	4	2	0	5	9	15	6	5	0	0	53	29	24	182.8%
バウンダリマイク	1	9	2	4	2	1	2	6	3	2	0	1	33	37	-4	89.2%
ウェブカメラ	1	7	2	2	1	1	3	7	2	1	0	1	28	—	—	—
SDカード	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	—	—	—
オーディオキャプチャ	1	8	2	2	1	1	1	5	1	2	0	1	25	—	—	—
HDMIコネクタ	6	1	3	0	2	6	0	0	0	2	2	0	22	35	-13	62.9%
DVDプレーヤー	2	2	6	1	0	4	0	2	3	2	0	0	22	11	11	200.0%
TV会議	0	2	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	7	—	—	—
PC用スピーカー	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	100.0%
ブルーレイプレーヤー	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	6	27	-21	22.2%
CDデッキ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	—	—	—
ワイヤレスマイク	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	—	—	—
その他	9	1	11	4	0	1	3	6	2	2	0	3	42	1,265	-1,223	3.3%
貸出総数	226	331	438	329	151	194	307	432	362	245	95	189	3,299	3,742	-443	88.2%

表 1：2016 年度 AV 機器貸出状況（月別）

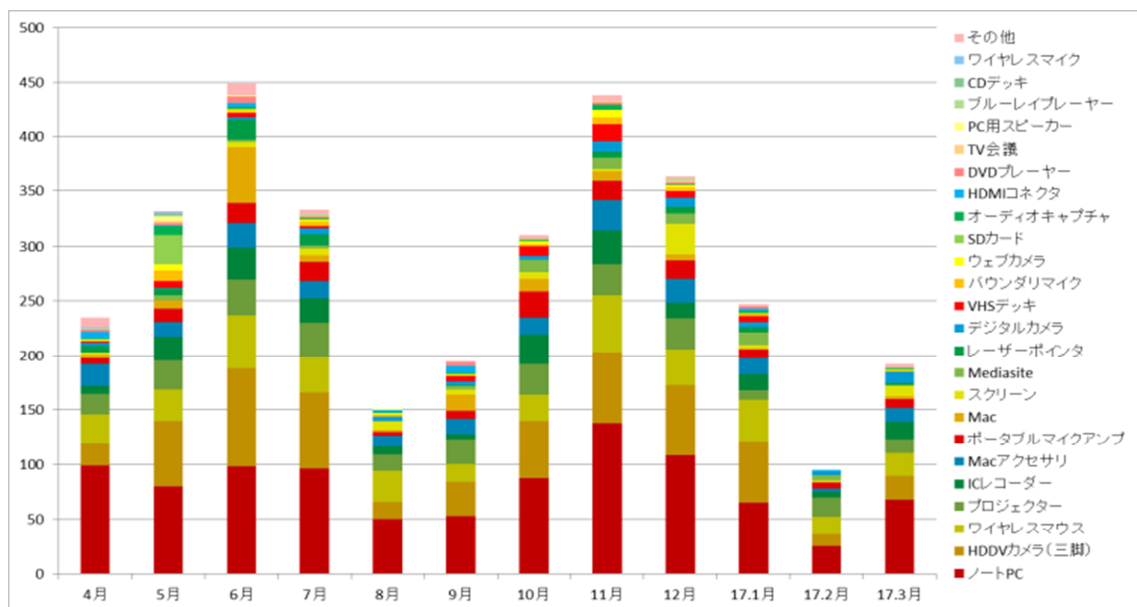


図 1：2016 年度 AV 機器貸出状況（月別）

	ノートPC	ビデオカメラ	ICレコーダー	プロジェクター	マイクアンプ	DVDプレーヤー	BDプレーヤー	ワイヤレスマイク	スクリーン	WLマウス	Mediasite	デジカメ	その他
2014年度	810	713	238	100	70	12	20	15	9	227	59	46	827
2015年度	784	607	257	127	78	11	27	0	0	237	25	59	1259
2016年度	1083	558	199	272	144	22	6	0	0	366	62	57	42
2014年度比較	273	▲ 155	▲ 39	172	74	10	▲ 14	▲ 15	▲ 9	139	3	11	▲ 785
2015年度比較	299	▲ 49	▲ 58	145	66	11	▲ 21	0	0	129	37	▲ 2	▲ 1217

表 2 : 2016 年度 AV 機器貸出 3 期比較

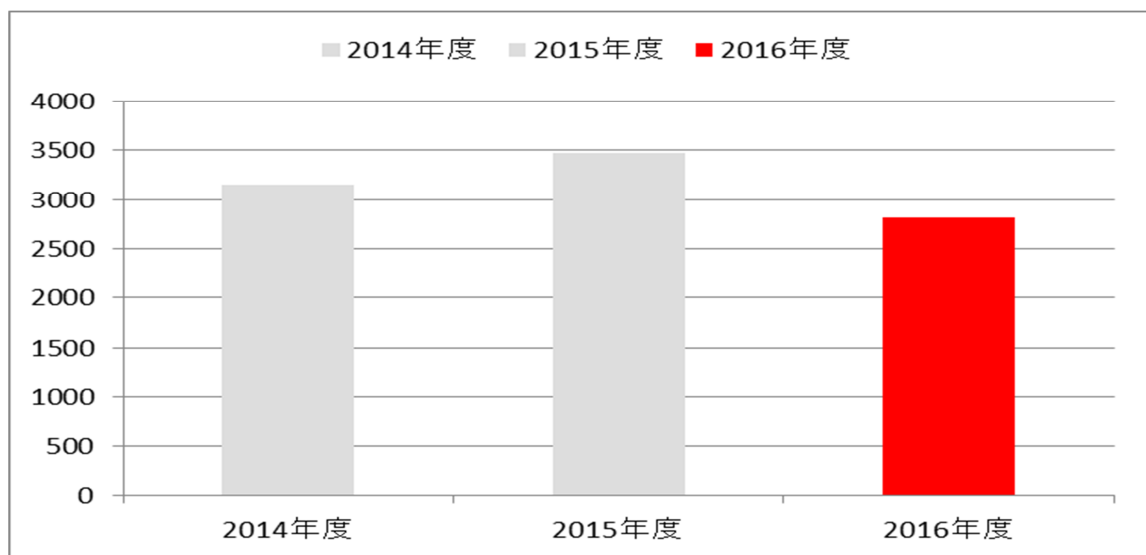


図 2 : AV 機器貸出 3 期比較

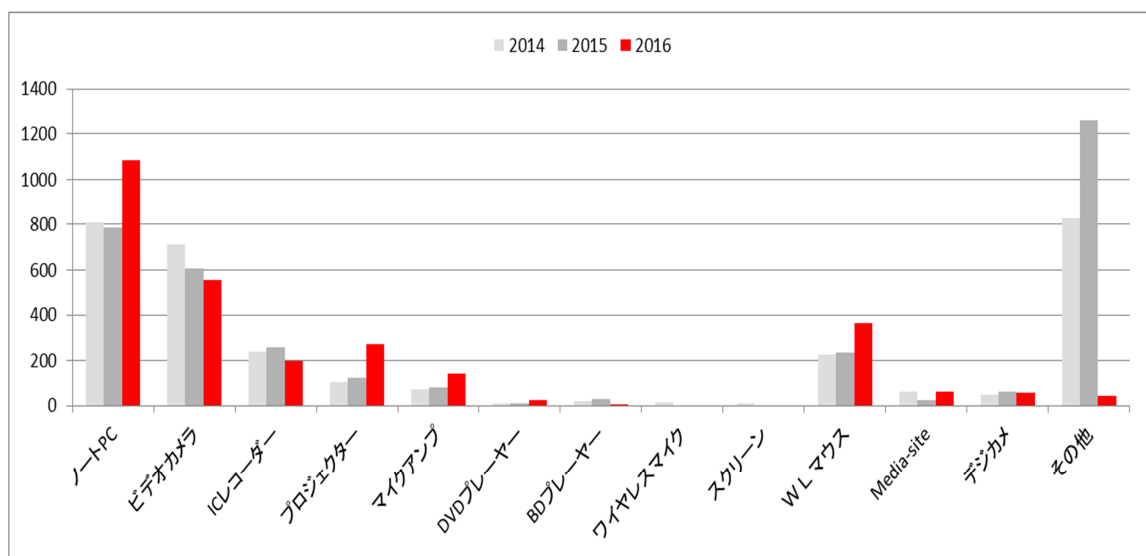


図 3 : AV 機器貸出 3 期比較(機種別)

(2). サポート状況

サポート全体では前年度より 21%（約 470 件）増加した。内訳は「セッティングおよび使用説明」が約 66%で前年度より 170 件増、「機器トラブル」が約 26%で 330 件増、「操作ミス」が約 8%で若干減少した。

AV タイプ別では、操作卓が 39%、次いで AV ラックが 21%、「その他」が 23%となった。前年度に比べ、大型モニタタイプで 45 件減少したほかは、全てのタイプで増加となった。特に、操作卓で約 90 件、PC 教室で約 60 件の増加となった。「その他」に分類される会議室等のサポートも増加している。また PC 教室は、夏に CALL 教室の改修を行ったので、使用説明のサポートが増えた。

操作卓のセッティングは 733 件と他と比べて圧倒的に多いが、これは次に述べる収録配信システムのサポートが増加したことが大きい。

	セッティング & 使用説明	操作ミス	機器トラブル	合計
2014年	1,637	274	477	2,388
2015年	1,646	243	370	2,259
2016年	1,812	224	695	2,731
前年比較	166	▲ 19	325	472
前年比	110.1%	92.2%	187.8%	120.9%

表 3：サポート状況 3 期比較

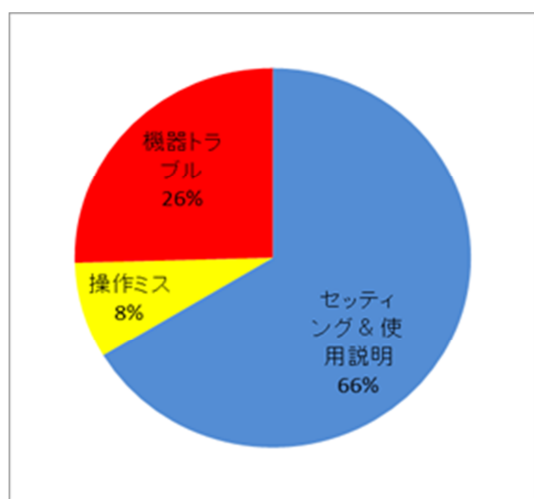


図 4：サポート内容

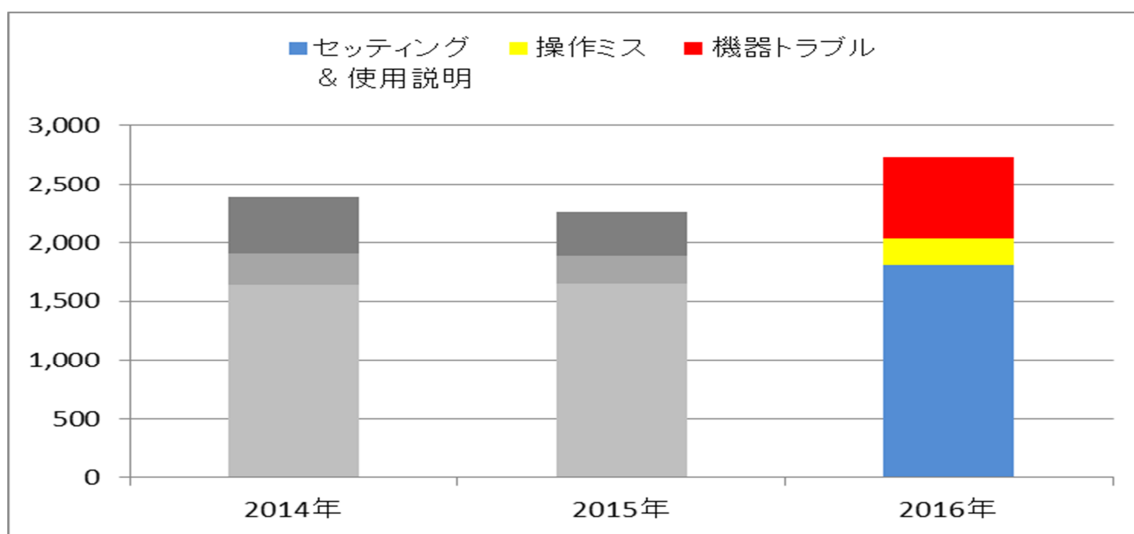


図 5 : サポート状況 3 期比較

	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	PC	その他
2014年	862	235	557	266	50	381
2015年	974	215	560	187	51	575
2016年	1063	228	577	144	112	611
前年比較	89	13	17	▲ 43	61	36
前年比	109.1%	106.0%	103.0%	77.0%	219.6%	106.3%
教室数	28	29	72	70	11	44
教室数あたり	38.0	7.9	8.0	2.1	10.2	13.9

表 4 : サポート状況 3 期比較 (AV タイプ別)

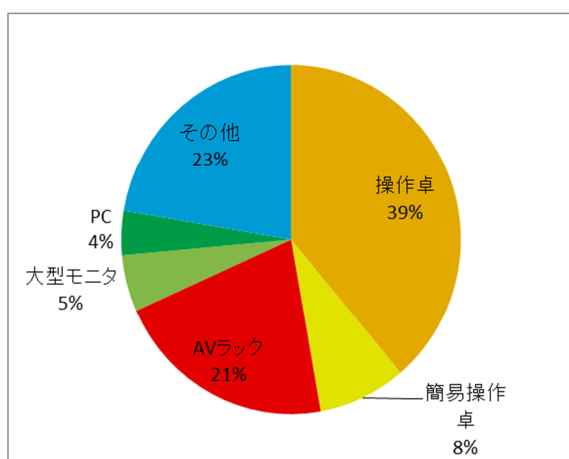


図 6 : サポート数 (AV タイプ別)

	操作卓	簡易操作卓	AVラック	モニター	PC	その他
セッティング & 使用説明	733	122	292	80	79	522
操作ミス	78	14	66	17	12	25
機器トラブル	252	92	219	47	21	64
合計	1,063	228	577	144	112	611

表 5：サポート数比較（AV タイプ別内容）

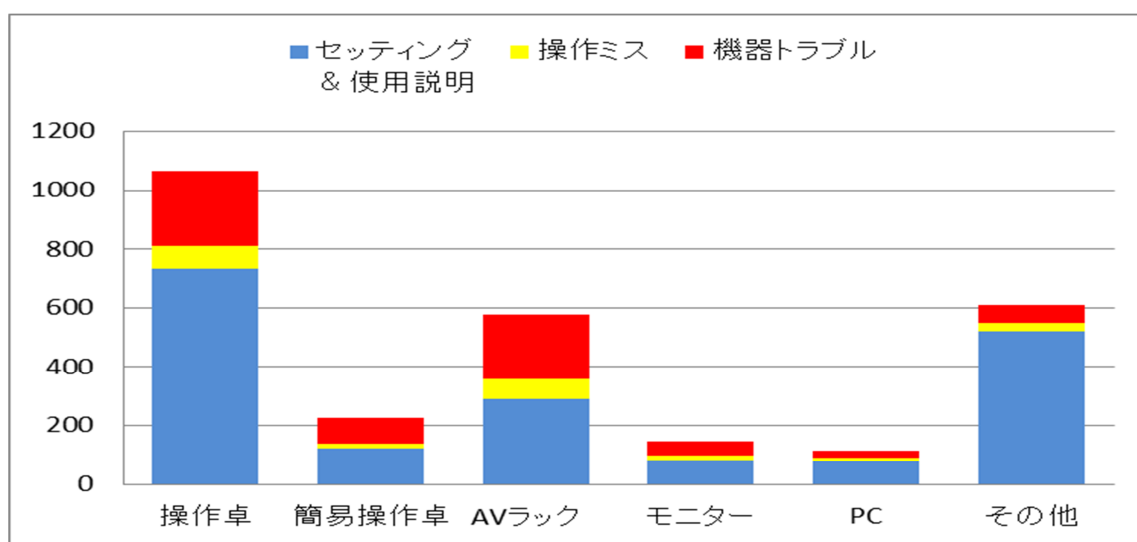


図 7：サポート数比較（AV タイプ別内容）

機材別にみると、PC は常設が約 530 件、貸出、持ち込みを合わせると 970 件で、前年度より 300 件あまり多くなった。常設 PC のデフォルトの表示を Windows8.1 にしたことによる障害が多発したためである。プロジェクターも 100 件近い増加となったが、こちらも後にリコール対象であることが発覚する特定の機種でのトラブル対応が多かった。

中継録画はキャリアセンターのプログラムが 2016 年度より Mediasite で収録することになったため、減少した。一方 Mediasite はキャリアセンターの収録をはじめ、授業での利用も増えたため、増加した。これらと Skype、遠隔講義、TV 会議などを合わせて、ビデオカメラの利用が増え、前年度を 50 件以上上回る、500 件近くに上った。

前年まで人気のあった IC レコーダーは減少した。比較的安価で操作が簡単のため、各部署での購入が増えたためと思われる。

	WL800	wiデジタル	WL赤外線	有線マイク	音響	常設PC	貸出PC	持込PC	他のIT機器	プロジェクタ	スクリーン	ブルーレイ	DVD	VHS	OHC	電子ボード	中継録画	Mediasite	DVカメラ	ICレコーダー	その他
2014年	59	—	39	59	27	472	82	132	34	412	46	75	91	59	85	7	335	96	491	46	301
2015年	38	—	30	62	16	393	143	91	38	405	24	133	42	58	48	7	219	53	443	74	179
2016年	72	10	44	92	50	534	195	147	95	495	0	148	43	41	67	7	173	125	496	23	979
前年比較	34	10	14	30	34	141	52	56	57	90	▲24	15	1	▲17	19	0	▲46	72	53	▲51	800
前年比	189.5%	100.0%	146.7%	148.4%	312.5%	135.9%	136.4%	161.5%	250.0%	122.2%	0.0%	111.3%	102.4%	70.7%	139.6%	100.0%	79.0%	235.8%	112.0%	31.1%	546.9%

表6：サポート状況3期比較（機種別）

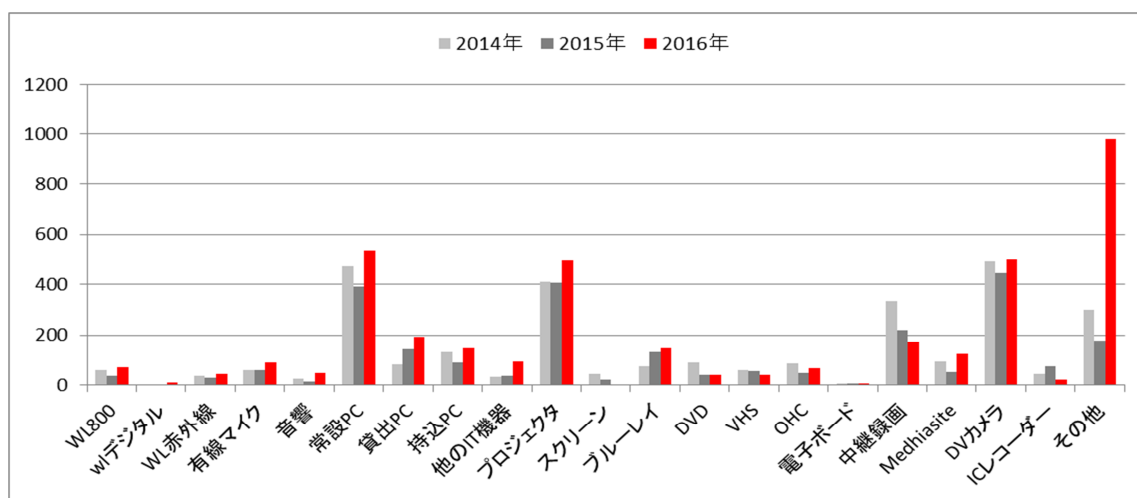


図8：サポート数3期比較（機種別）

① 機材トラブル

機器そのものの故障は減少したが、調整で直ったり、再現しないものが200件増加した。特にもっともトラブルの多かった常設PCでは、Windows 8.1で起動すると画面が拡大されてパワーポイントが正常に操作できないが、Windows 7で起動しなおすと問題ない事象が140件以上発生した。

また、プロジェクターもマキムや11号館などに設置されたVPL-FH500L(SONY)はランプの消耗が激しく、暗くて鮮明に投影されなかったり、投影そのものができなかったりという障害がたびたび発生した。メーカーの再三のオンサイトでの検証にもかかわらず、原因が特定できず、応急処置によって一時的に回復するため、件数を押し上げる一因となった。こちらはのちにメーカー側でリコール対象であることが判明し、全台ファームウェアのアップデートと、ランプ交換により是正された。

デジタル化によりタッチパネルやスイッチャー、制御器、ブルーレイプレーヤー等が同様に再起動で復活する事象が増えた。これらはハードの故障とは異なり、ソフトウェアの障害に起因するため、事象が一律ではなく、原因を特定しにくい改善までに時間を要する。

また、RGB ケーブル等の断線が56件増加した。

	機器故障	調節で直る	電源抜け・電池切れ	断線・爪折れ・破損	再現なし・リセットで復元	PC、その他
2014年	154	61	79	95	17	0
2015年	141	69	78	63	217	1
2016年	85	91	84	119	268	48
前年比較	▲ 56	22	6	56	51	47
前年比	60.3%	131.9%	107.7%	188.9%	123.5%	4800.0%

表7：機器トラブル3期比較

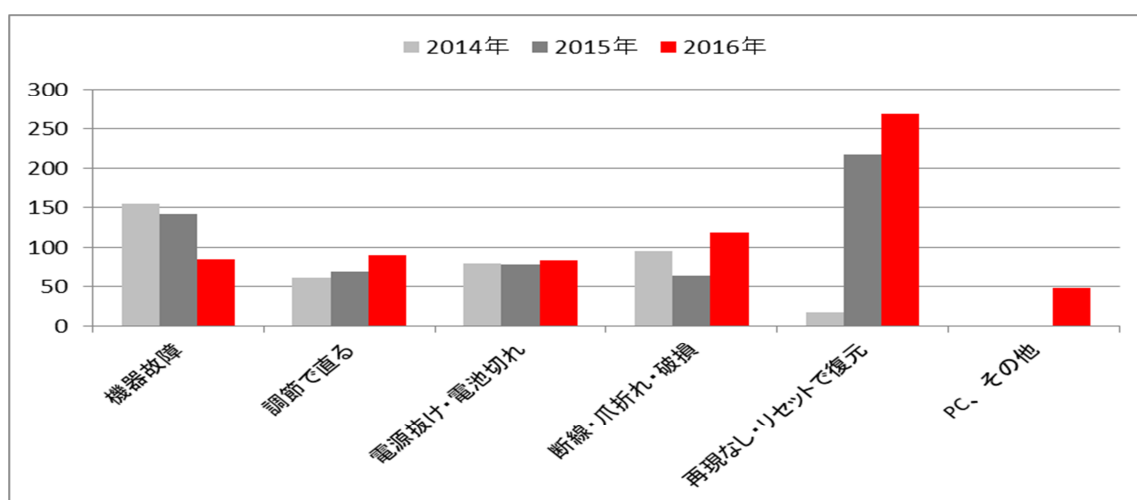


図9：機器トラブル3期比較（内容別）

	w800	wiデジタル	wi赤外線	有線マイク	MAMP	その他のマイク	貸出PC	持込PC	常設	Mac	PC周辺機器	プロジェクター	ブルーレイ	DVD	Maraantz	VHS	OH C	DVビデオ	ICレコーダー	電子ボード	CDラジカセ/デッキ	卓上モニター	ケーブル類	その他	タッチパネル	WPJ	スリッチャ	システム全般	音響全般	録音機	ビデオ	会議室	web会議	skype	配信	通話	操作	簡易操作	Vラッ	型モニ	の設備		
故障	4	0	0	4	1	0	1	4	2	2	0	13	3	2	0	3	0	0	0	4	2	0	2	15	4	0	7	3	9	0	0	4	0	1	0	0	1	0	1	3	1		
調整	5	2	2	2	1	0	1	7	13	1	1	17	6	2	0	0	9	0	0	0	0	1	4	6	1	0	6	1	16	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	1		
ラッ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
電源	7	1	5	1	0	0	0	1	9	0	2	6	9	1	0	1	7	0	0	0	1	6	7	5	3	3	2	2	4	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4	4	0	
断線	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	78	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破損	1	0	0	2	1	1	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	
リセット	3	0	4	7	1	1	2	14	75	8	5	47	17	2	1	2	11	0	0	0	1	8	3	17	19	0	8	19	14	0	0	4	0	0	0	1	5	1	5	4	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
PC故障	0	0	0	0	0	0	4	0	36	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
合計	20	3	11	16	4	2	8	29	144	11	10	92	40	7	1	6	31	0	0	4	4	17	100	54	27	3	23	26	43	0	0	10	0	1	0	2	13	2	14	12	2		

表8：機器トラブル(機材別トラブル内容)

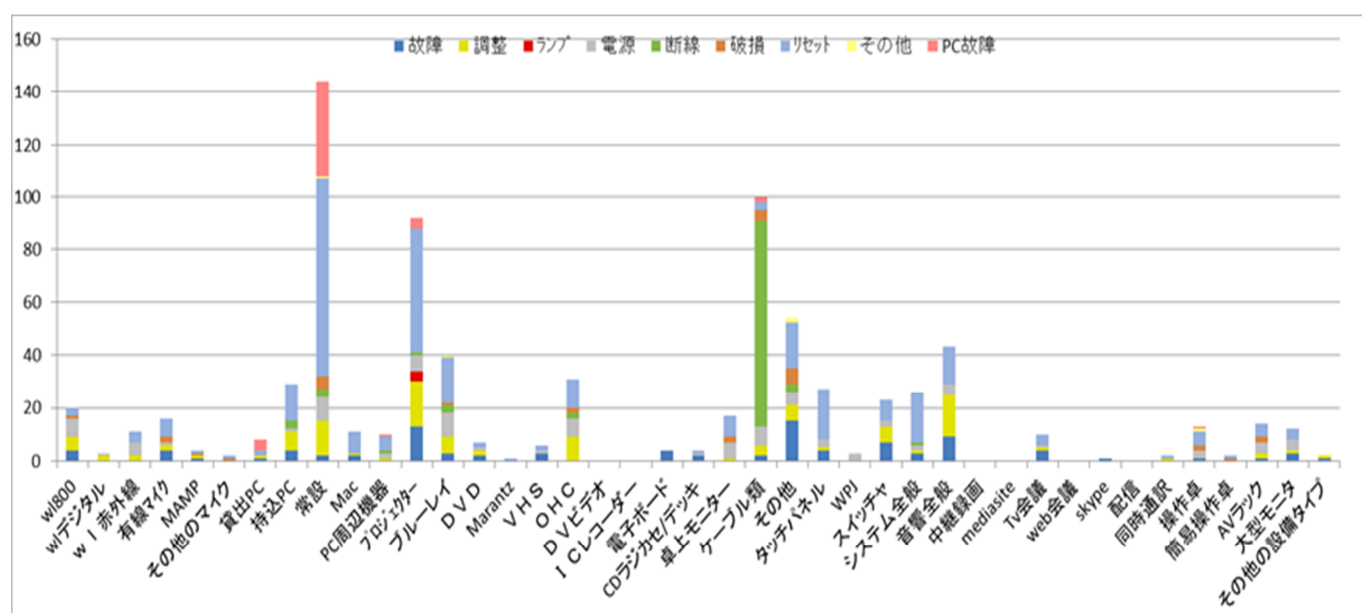


図 10：機材別トラブル内容

機器トラブル	w/800	w/デジタル	w/赤外線	有線マイク	MAMP	貸出PC	持込PC	常設	Mac	PC周辺機器	プロジェクター	ブルーレイ	DVD	Marantz	VHS	OHC	DVBデコーダー	I-レコーダー	電子ボード	CDラジカセ/デッキ	ケーブル類	その他	タッチパネル	音響全般	中継録画	Mediasite	TV会議	Skype	配信	同時通訳	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	その他の設備タイプ
2015年	17	0	17	9	0	1	7	63	5	11	131	28	5	0	13	13	1	0	3	2	59	70	27	0	0	0	0	0	0	0	28	12	17	20	8
2016年	3	20	11	16	4	8	29	144	11	10	92	40	7	1	6	31	0	0	4	4	100	123	27	43	0	0	10	1	0	2	13	2	14	12	2
前年比	▲14	20	▲6	7	4	7	22	81	6	▲1	▲39	12	2	1	▲7	18	▲1	0	1	2	41	53	0	43	0	0	10	1	0	2	▲15	▲10	▲3	▲8	▲6

表 9：機器トラブル 2 期比較 (機材別)

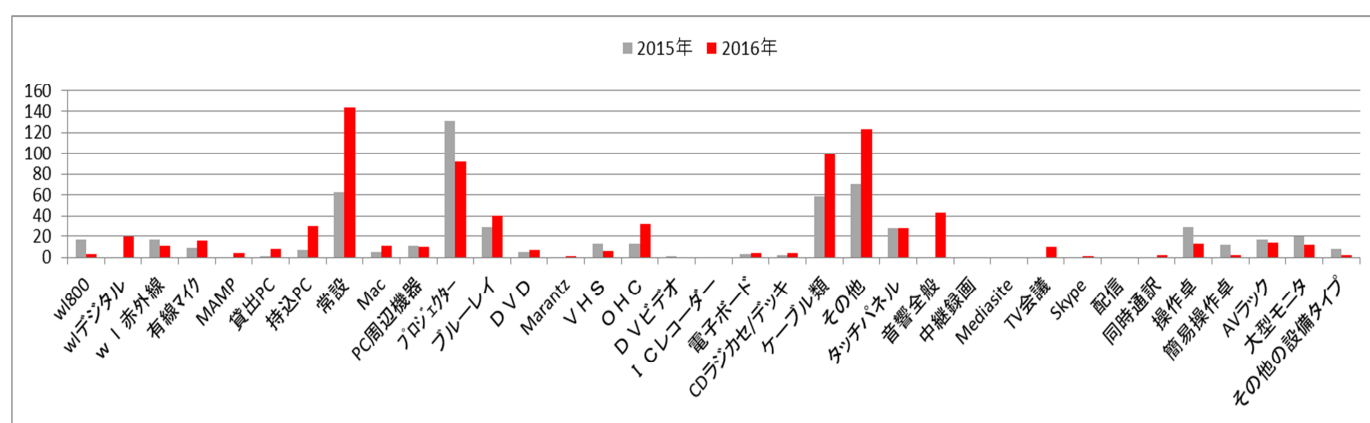


図 11：機器トラブル 2 期比較 (機材別)

② 操作ミス

前年に比べて全体としては約 20 件減少した。常設 PC のミスが最も多いが、使用の際の混乱は減少しているといえる。ミスの内容は操作卓ではシステムとは別に PC の電源を入れなかった、AV ラックでは起動する前にケーブルを接続していなかったことが相変わらず多い。

操作ミス	w/800	w/デジタル	w/赤外線	有線マイク	MAMP	貸出PC	持込PC	常設	Mac	PC周辺機器	プロジェクター	ブルーレイ	DVD	Marantz	VHS	OHC	DVビデオ	ICレコーダー	電子ボード	CDラジカセ/デッキ	ケーブル類	その他	タッチパネル	音響全般	中継録画	Mediasite	TV会議	Skype	配信	同時通訳	操作卓	簡易操作卓	AVラック	大型モニタ	その他の設備タイプ
2015年	2	0	0	1	0	1	16	90	13	6	24	32	13	3	4	3	0	0	0	4	3	9	4	0	0	0	3	0	0	0	11	3	11	13	0
2016年	4	1	4	2	1	4	24	81	6	3	46	15	8	1	2	5	1	0	0	5	2	18	1	3	0	0	6	0	0	0	17	2	12	10	0
前年比	2	1	4	1	1	3	8	▲9	▲7	▲3	22	▲17	▲5	▲2	2	2	1	0	0	1	▲1	9	▲3	3	0	0	3	0	0	0	6	▲1	1	▲3	0

表 10：操作ミス 2 期比較（機種別）

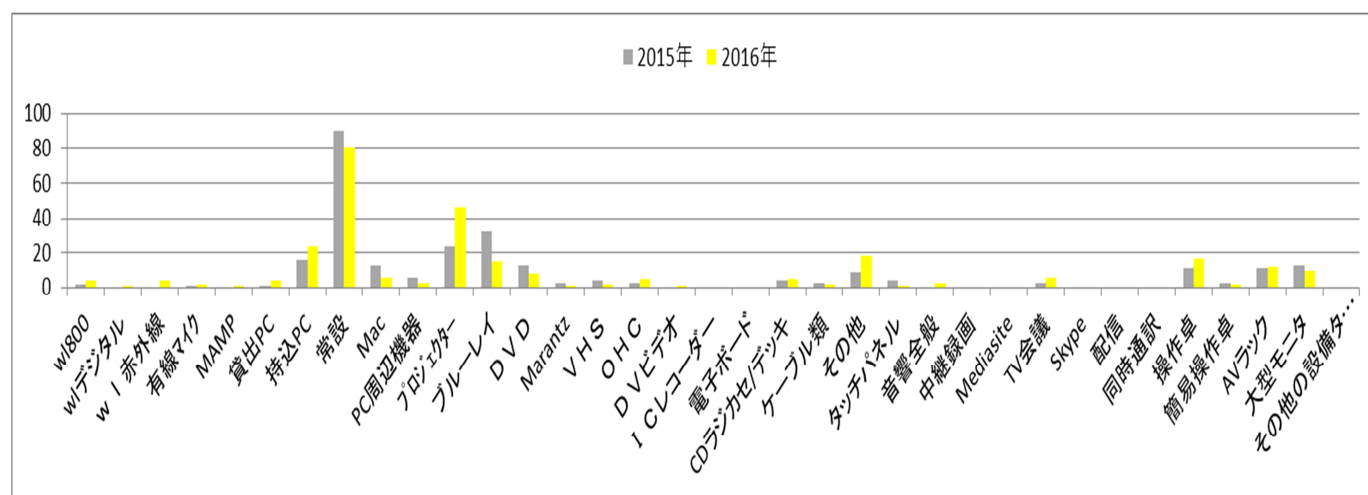


図 12：操作ミス 2 期比較（機種別）

③ 使用説明またはセッティング

「使用説明またはセッティング」の機器別割合に関してはほぼ前年と同じである。前期のサポート数は少なかったが、後期になって録画依頼が増えたので、トータルとしては同じ結果となった。DV ビデオ（HDDV カメラ）の設置が最も多くなっているが、PC 関係をトータルすると（「常設 PC」、「貸出 PC」、「持込 PC」、「Mac」、「PC 周辺機器」の合計）約 540 件で最多となる。そのうち約 140 件はタッカーホールのプロジェクターと常設 PC の設置で、約 60 件は太刀川 3 階多目的ホールのサポートになっている。

DV ビデオ（HDDV カメラ）は中継録画、Mediasite、Skype、配信のいずれも必要とするので、単独での録画利用の他に用途は広い。

使用説明 設置	wi800	wiデジ タル	wi赤 外線	有線マ イク	MAMP	貸出 PC	持込 PC	常設	Mac	PC周 辺機 器	プロジェ クター	ブルー レイ	DVD	Marantz	VHS	OHC	DVビ デオ	ICレ コー ダー	電子 ボード	CDラ ジカセ /デッ キ	ケーブル 類	その他	タッチ パネル	スイッ チャ	中継録画	Mediasite	TV会議	Skype	配信	同時通訳	操作卓	簡易操 作卓	AVラック	大型モ ニタ	その 他の設 備 タイプ
2015年	15	0	10	47	3	139	64	221	19	18	238	68	21	13	41	29	440	74	3	8	11	81	1	2	218	53	69	48	29	14	54	6	32	10	11
2016年	48	6	29	74	42	183	84	236	46	19	357	93	28	8	33	31	495	23	3	32	7	99	0	8	173	125	82	38	62	9	100	14	65	14	7
前年比	33	6	19	27	39	44	20	15	27	1	119	25	7	▲5	▲8	2	55	▲51	0	24	▲4	18	▲1	6	▲45	72	13	▲10	33	▲5	46	8	33	4	▲4

表 11：使用説明&セッティング（機種別）

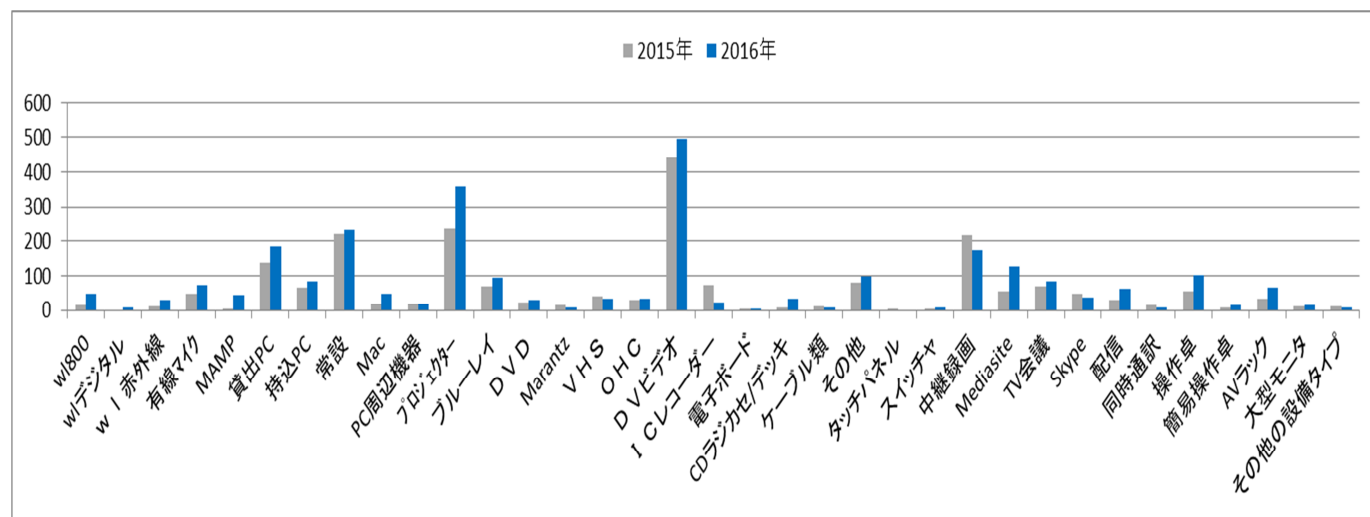


図 13：使用説明&セッティング（機種別）

(3). システム利用状況

プロジェクター監視システムは2015年度より新たに、ワイヤレスマイクの充電状況が確認できる機能(WatchMic)を追加、また、ICカード管理システムと統合したFomsとしてスタートした。これまでの教室に加え、新座のCALL教室も監視できるようになった。教室数は増加していないが、システム利用が増加する傾向は2016年度も続いている。ますますマルチメディアの利用が伸びているといえる。

	前期	後期	合計
2014年	47,853	39,544	87,397
2015年	49,846	40,676	90,522
2016年	52,626	42,549	95,175
前期比較	2,780	1,873	4,653
前期比	105.6%	104.6%	105.1%

表 12 : AV システム利用状況 (Foms による)

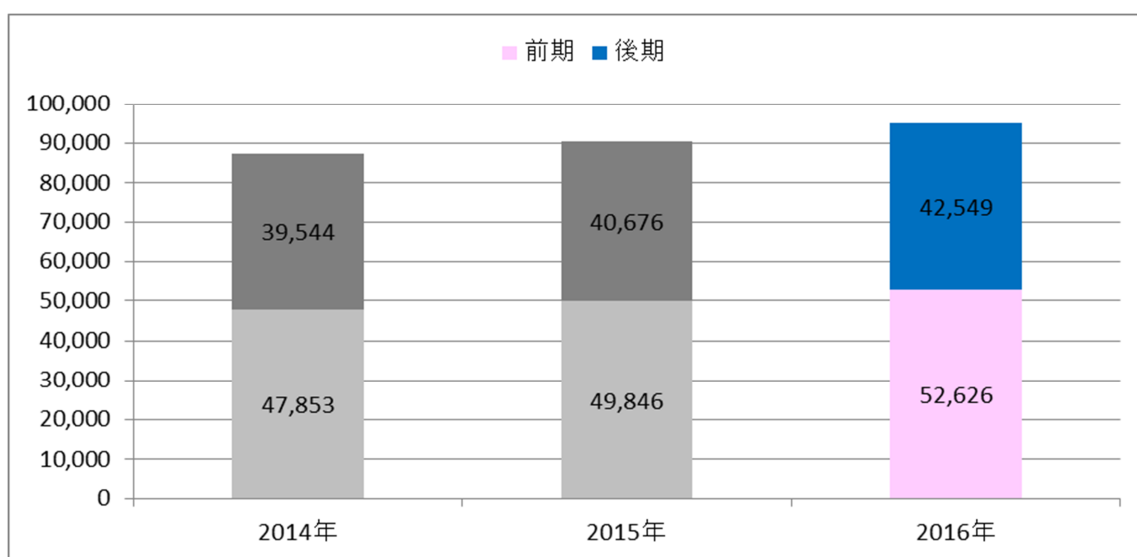


図 14 : AV システム利用時間 3 期比較

3. ダビング

録画データの変換は受付数でも作成数でも前年度を上回った。

(1). 受付数（ダビング元）

年間推移は例年通り、11月、6月、10月に依頼が多く、作成数は12月、11月、10月の順に多かった。2016年度は特に前期より後期のほうが多い傾向が強く出た。

もっとも多いのは中継録画、次いで HDDV カメラによる録画であるが、2016年度は Mediasite がこれに迫る勢いとなった。

また、作成数では DVD を作成せず、データを USB に取り込む依頼も増えた。

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数	受付数	作成数
授業	19	53	32	55	39	64	36	64	0	0	25	34	45	93	57	134	33	124	22	49	0	0	0	0	308	670
授業外	11	16	41	67	41	61	33	66	9	13	21	32	37	63	38	41	41	81	28	41	10	21	16	61	326	563
合計	30	69	73	122	80	125	69	130	9	13	46	66	82	156	95	175	74	205	50	90	10	21	16	61	634	1,233

表 13：2016 年度ダビング受付および作業数

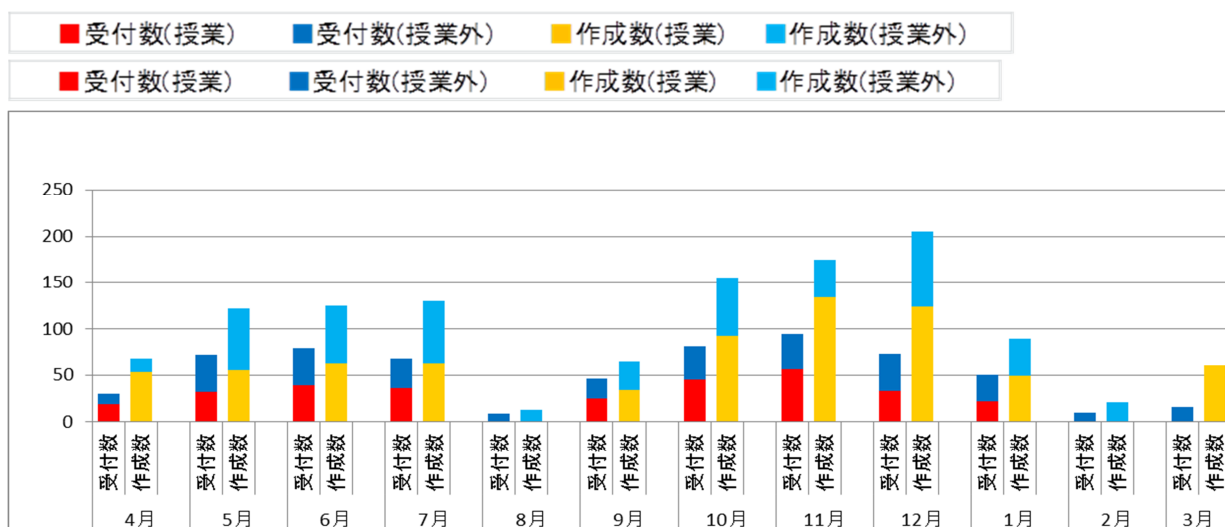


図 15：2016 年度ダビング受付および作業数（月別）

	中継録画	DVカメラ(HDD)	ICレコーダー	DVカメラ(SD)	DVD	VHS	CD	HDD(保存)	TV録画	USB	その他	Mediasite	合計
2015年	201	188	59	12	21	27	3	6	7	2	8	0	573
2016年	197	154	34	28	25	25	9	7	9	3	12	138	634
前年比較	▲ 4	▲ 34	▲ 25	16	4	▲ 2	6	1	2	1	4	138	61
前年比較	98.0%	81.9%	57.6%	233.3%	119.0%	92.6%	300.0%	116.7%	128.6%	150.0%	150.0%	—	110.6%

表 14：ダビング元 2 期比較

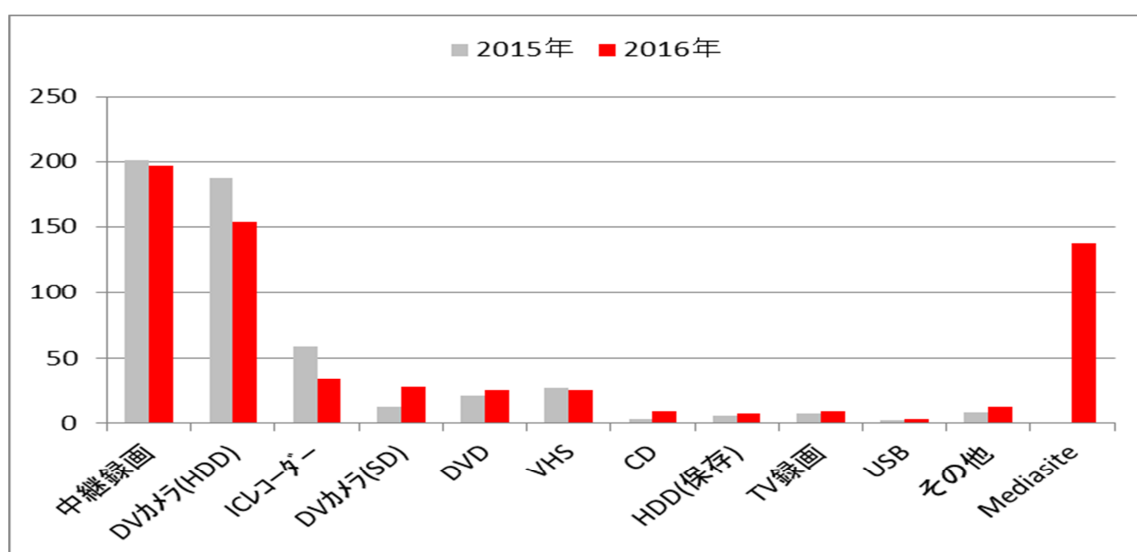


図 16 : ダビング元 2 期比較

(2). 作成数

	DVD-R	CD-R	USB	その他	合計
2015年	832	165	70	76	1143
2016年	880	72	90	118	1160
前年比較	48	▲ 93	20	42	17
前年比較	105.8%	43.6%	128.6%	155.3%	101.5%

表 15 : メディア変換 2 期比較

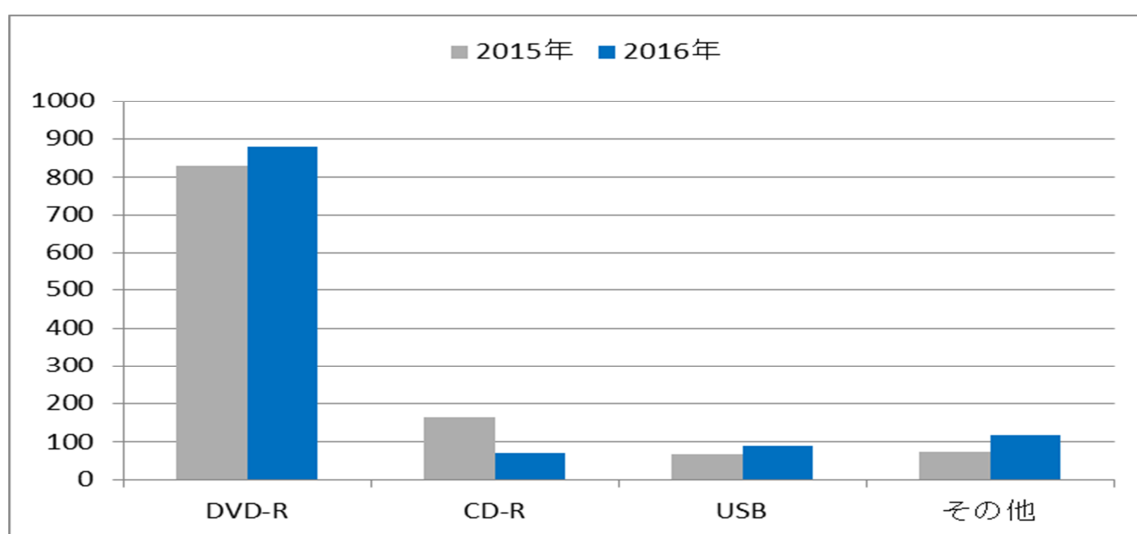


図 17 : メディア変換 2 期比較

4. 2016 年度大学行事

主な大学行事のサポート一覧を記載する。

実施日	依頼者	目的	内容
4月1日	教務課	学生証交付	教室システム起動、OHC投影
4月1日	全カリ事務室	プレイメントテスト	CDラジカセライン接続
4月4日、5日	総長室教学連携課	入学式	芸術劇場にて収録
4月2日	総務課	大学院入学式	チャペル内録音
4月2日	独立研究科事務室	独立研究科入学式	チャペルから1202教室への中継
4月8日	人事課	新入職員オリエンテーション	収録および同時通訳システムセット
4月1日～9日	学生部、各学部事務	新入生オリエンテーション	プロジェクター設置、中継等
4月2日	教務部	講座新規登録ガイダンス	タッカーホールから8号館へ中継
5月21日 6月18日、25日 11月5日	総長室教学連携課	首都圏教育懇談会	プロジェクター設置、AV機器操作
6月11日	教務課	英語単位認定試験	リスニングテスト用CD作成、CDラジカセライン接続
7月20日～31日	教務課	春学期末試験	マイク設営、CDラジカセライン接続
8月3日～5日	入学センター	オープンキャンパス	Mediasite収録、配信他
9月16日	総務課	大学院秋季卒業式、入学式	マイク設営、録音
9月16日	独立研究科事務室	独立研究科特別卒業式	チャペルから1202教室への中継
10月29日～11月2日	学生部	St.Pauls' Festival	機材貸出、利用支援
11月19日、20日	入学センター	秋季入試	マイク設営
11月12日	教務課	英語単位認定試験	リスニングテスト用CD作成、CDラジカセライン接続
12月3日、10日	全カリ事務室	英語力伸長度測定テスト	マイク設営、CDラジカセライン接続
11月29日	学生部	点灯式	音響設営補助
12月12日	学生部	キャロリング	池袋西公園に音響機材設置
12月24日 12月25日	チャペル事務室	クリスマス・イブ礼拝 クリスマス礼拝	マイク設営 8101教室への中継
1月14日	学生部	体育会総会	タッカーホールから8号館3教室へ中継
1月24日～2月3日	教務課	秋学期末・学年末試験	マイク設営、CDラジカセライン接続
2月6日～14日	入学センター、学生部	入学試験	マイク設営他会場設営
3月1日～	キャリアセンター	合同企業説明会	プロジェクター設置、中継等
3月24日～25日	総長室教学連携課	卒業式	タッカーホールでの収録、8号館への中継
3月25日	総務課	大学院卒業式	録音

表 16：2016 年度サポート大学行事一覧

5. 2016 年度のまとめ

AV 機器の貸出もサポートも前年度よりさらに増えた。特に中継録画や Mediasite、また中継、遠隔講義や TV 会議といったサポートが増加している。これらはメディアセンターの案内には公的にはこれまで表記してこなかったが、口コミにて広まっているらしく、「メディアセンターでやってもらえると聞いたのですが…」という問い合わせが多い。そこで「2017 年度 教務に関するご案内」にサポート内容や対象教室を明記した。

これらのシステムは利用者にとっては便利だが、サポートする側では人手が必要となる場合も多い。すべての教室に同じように機器がそろっているわけではないので、ハイテクなシステムだが、実際は人によるきめ細やかなサポートを必要とされている。

利用者にとって常に快適に利用できるように、日ごろから点検等をこまめに行って保守に努めているが、ハード面では良好な状態を保てても、デジタル化のために不具合が再現せず、ランダムにトラブルが発生する。

また、教室の利用率が高くなり、検証する時間がとりづらいこともある。

しかしながら、利用者の増加を考えると、今後も快適な環境を提示できるよう、努めたい。